

平成23年度 予算

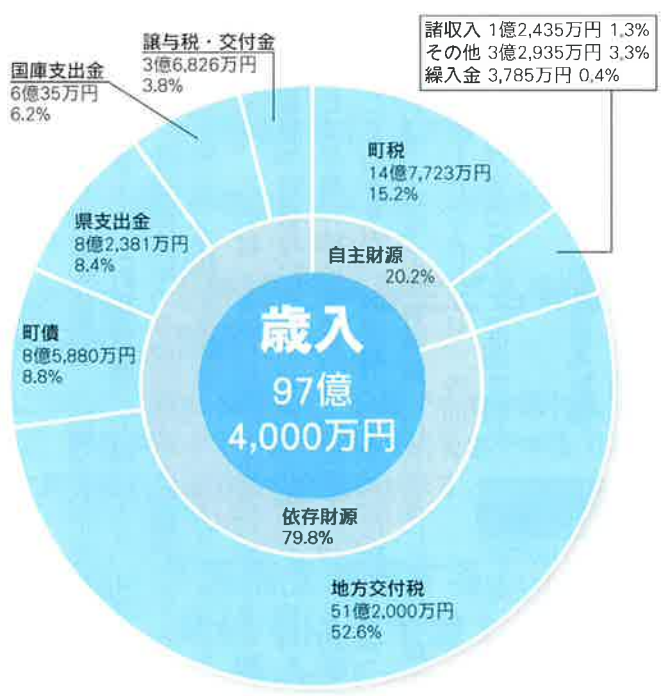
本年度一般会計予算は 0.3%減

平成23年度予算が、地域休養施設特別会計を除いて3月議会で可決、成立しました。まちづくりの基本となる一般会計予算は97億4,000万円、昨年度より3,000万円、0.3%の減となりました。

これは、障害者自立支援事業等による扶助費の増、中山間地域等直接支払推進事業交付金などによる補助費等の増がありました。耐震補強及び大規模改修工事など大型事業の終了や、地域活性化交付金事業（きめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金）を活用し事業を

前年度に前倒ししたため、普通建設事業が大幅に減少し前年度比微減となりました。また、3月議会で否決された地域休養施設特別会計は、山香荘の4月から9月までの運営費のみを4月臨時議会に提案し、可決、成立しました。

歳入 一般会計目的別グラフ



その他は分担金及び負担金1億20万円、使用料及び手数料1億805万円、財産収入ほか1億2,110万円

一般会計予算 97億4,000万円

平成23年度主な事業

- 滞納整理システム導入
1,628万円
行財政改革審議会の答申を受け、徴収率の県下一を目指すため滞納整理システムを導入
- 緊急雇用創出事業
5,343万円 (補助分4,751万円、単町分592万円)
緊急経済対策。事務員、作業員を直接雇用し、不法投棄物・漂着物の収集処理、町道・農道の維持管理などを行う。
- 耕作放棄地再生利用推進事業
1,000万円
農振農用区域内の耕作放棄地を農地へ再生作業を行い、賃借権や使用貸借権の設定・移転・所有権の移転農作業委託などにより、再生年度から5年間以上耕作する農業者を支援する。
- しっかり守る農林基盤交付金事業
4,210万円
部分的な農地の排水条件の改良や用排水施設の変更を行うための簡易な基盤整備事業を行う。

- 電気自動車普及事業
695万円
電気自動車の普及のために、鳥取県の取り組みに連動し「急速充電器」を設置する。町内2箇所に設置予定。
- 巡回バス電気自動車購入事業
2,507万円
中山地区と名和地区で運行されている「巡回バス」を電気自動車に更新する。また新たに大山地区にも電気自動車を導入する予定。導入台数は5台。また、急速充電器1台と普通充電器5台を設置する。
- 道路新設改良事業
17,217万円
「町道一の谷赤松線」、「町道淀江門高田線」、「町道大岩高田線」、「町道神原福尾線」ほか9路線の道路新設改良。また、橋梁の長寿命化修繕計画策定事業を行う。
- まちなみ環境整備事業
5,537万円
大山寺周辺の修景施設整備を行う。今年度は「ウェルカムポケットパーク整備工事」「街路灯設置」等を予定。